

第4期愛知県障害者計画と第6期愛知県障害福祉計画を一体化した新プランの策定に対する

ワーキンググループ委員（旧委員：任期2020年6月末まで）の意見一覧

資料番号	意見
資料3	第5章 2情報アクセシビリティの向上 ライフサイクルに応じた難聴者(児)支援のあるべき姿の実現を目指し、難聴対策及びそれを支える基盤作りに向けた総合的、体系的取組が必要とされているため、【現状・課題】に以下の文言を追加 ○現在1,000万人以上はいると言われ、今後も超高齢社会の中増加し続けるであろう難聴者問題への取組
資料3	第5章 2情報アクセシビリティの向上 情報提供施設に関連する団体の独自性が尊重されているかどうかなど、透明性のある施設の運営を目指し、【計画期間の取組(案)】に下線部を追加 ○障害者情報提供施設における支援の充実ならびに関連団体の独自性の尊重
資料3	第5章 2情報アクセシビリティの向上 手話言語等について、学習の機会が確保されているにもかかわらず、それが充実していなければ実効性は薄いため、【計画期間の取組(案)】に下線部を追加 手話言語をはじめとする障害の特性に応じたコミュニケーション手段に関する啓発及び学習の機会の確保と充実
資料3	第6章 2精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築 ・事業者が通所者の抱え込みを行うことがあり、それが精神障害者の地域移行、地域定着の阻害要因となっている。各福祉事業者が連携し、利用者の利益を優先する仕組みを構築する方策を考えることが必要。 ・利用者にどんなステップで退院から自立、就労等の目標達成ができるか十分な周知がされていないのではないか。
資料3	・障害福祉を考える場合、リプロダクティブヘルスの概念も取り入れていくことができればよい。近年、障害をもっている人や性を生殖を自分の意思で選択し、出産する方が増えてきているが、障害福祉と母子保健の連携が上手くとれず、制度の狭門におちていることがよくみられている印象がある。
資料4	・情報の入手では市町村の関連の割合が少なく、行政からの情報がきちんと届いていない現状がある、特に防災に関連することの不安も高く、命に関わる情報の情報を確実に届けられる体制の整備が急務ではないか。 ・学校で差別を受けたことがあるということは重大な事態として取組む必要がある。他に自分でアクセスする手段をもたない子どもにとって居場所である学校で差別を受けることは将来にわたって影響を与える。学校での対応・対策も急務なのではないか。 ・仕事をしていない人の割合も高い。学校でより適切な体験や支援ができれば就業につながるケースも多いと感じる。企業への啓発とともに学校に対して不満と答えた20%を減らすことは必須ではないか。
資料全般	・コロナウイルス感染拡大をきっかけに、人との接触をさける新しい生活様式が勧められているが、継続した福祉サービスなどが受けにくくならないような施策が必要。
資料全般	・情報について、点訳や音訳はボランティアが中心になっているが、今回コロナでボランティアの活動ができなくなり、情報がストップしてしまったものもある。さらに、子育てが終わっても働く人がふえ、ボランティアを希望する人が減っているため、公的に制度化する必要があるのではないか。
資料全般	・多くのことで、オンライン化が進んでいるが、高齢者など上手く使いこなせない人もいるため、オンライン以外の方法も取り入れるべきではないか。
資料3	第4章 展望 ②施策体系図(案)について 「3 防災、防犯等の推進」は「安心して暮らし続ける」のカテゴリーとし、「5 自立した生活の支援・意思決定支援の推進」は「自分らしく暮らし続ける」のカテゴリーの方が良いのではないか。 また、「4権利擁護の推進及び行政等における配慮の充実」は「地域で暮らし続ける」のカテゴリーに入れてはどうか。

資料3	第3章 2 障害のある人の状況について 記載する項目が、身体、知的、精神、発達、難病となっているが、高次脳機能障害も加えてほしい。
資料3	第4章右下表<第4次障害者基本計画の「各分野における障害者施策の基本的な方向」>について、「7 行政等における配慮の充実」を「4 差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止」に統合する理由は何か。
資料全般	計画を一体化することにより、複雑になるため、一般県民や障害当事者・家族に分かりやすい説明が必要。
資料3	第3章 2 障害のある人の状況 発達障害のある人について知的障害を伴う人も多く、特に行動障害を伴う人は知的障害を伴う人が多いということを考慮すべき。
資料3	第4章②施策体系図について 地域での情報・支援に結びつく内容を具体的に示すことができればよいと感じる。
資料3	第5章 ・「1 安全・安心な生活環境」にコロナ対策の記載があるが、「2防災・防犯等の推進」でも記載する必要がある。 ・「6 保健・医療の推進【施策の方向性（案）】の医療提供体制の整備について、障害者の高齢化に伴う医療の必要性（癌・生活習慣病等）とコロナ感染に伴う医療の必要性を記載する必要がある。

※ いただいた御意見への対応につきましては、愛知県障害者施策審議会での御意見と愛知県障害者自立支援協議会での御意見とを合わせて次回ワーキンググループ及び愛知県障害者施策審議会でお示しします。